

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策 : 01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策 : 02 安全で安心できるまちづくり

主管課長職・氏名	防災防犯課長 日向 秀次
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>近年、大規模な自然災害が全国各地で発生しています。岩手山を有する本市といたしましても、日頃から市民の防災に対する意識及び備えを促すことが求められています。また、本市で、安全で安心に暮らすためにも、防災、防犯及び交通安全などの恒常的な取り組みが必要であることから、市行政や関係機関だけでなく、市民とともに人と人とのつながりによる災害に強いまちづくりや、犯罪と事故のないまちづくりを目指します。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	49.2	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	A
			55.3	-	-	-	-	0.0
2	幸福 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	64.1	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	A
			67.1	-	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01020100 災害に強いまちづくりの推進 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	49.2	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	A
			55.3	-	-	-	-	0.0
2	暮らし 01020200 交通事故及び犯罪の減少による安全なまちの構築 交通事故発生件数 単位 件以下	59	71	71	71	71	71	A
			57	-	-	-	-	0.0
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

基本施策：02 安全で安心できるまちづくり

主管課長職・氏名	防災防犯課長 日向 秀次
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 消防事業では、消防ポンプ自動車の更新(第10分団)と小型ポンプ積載車の新規配備(第5分団)を行いました。また、第3分団消防屯所の屋根外壁改修を行いました。 防災事業では、防災マップの全戸配布、防災行政無線携帯型の全自主防災組織への配備を行いました。また、地域防災リーダー研修会を開催し、26人の防災リーダーを育成しました。 防犯交通安全事業では、死亡事故ゼロは、途切れましたが、交通指導員の街頭活動や交通安全専門員の交通安全教室の実施及び少年補導員の防犯活動の展開により、交通事故及び犯罪の減少に努めました。

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ車の更新等を2台実施しました。 自主防災組織の強化のため、携帯無線機の配備や防災リーダー研修会を実施しました。 交通指導員の街頭活動や交通安全専門員の交通安全教室の実施及び少年補導員の防犯活動の展開により、交通事故及び犯罪発生件数は減少しました。

3. 基本施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<ul style="list-style-type: none"> 近年の異常気象による大雨等の増加 住民の高齢化

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策の目標達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であり見直しの必要はありません。

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市自主防災連絡協議会を柱として全自主防災組織での訓練が実施されるよう取り組みを進めます。 交通指導員の確保について各自治会への働きかけや一般公募を実施します。 防犯灯や交通安全施設の維持管理を実施します。 消防団員数の充足についての取り組みを進めます。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団員及び交通指導員の確保 経年劣化の進む防犯交通安全施設の修繕費の予算確保

